

\*「さばき」について。「さばく」とは日本語でも、第一の意味は魚をさばくのように「分ける」(捌く)、また黑白を「判断する」(裁く)。「そこで、イエスは言われた。「わたしはさばきのためにこの世に来ました。それは、目の見えない者が見えるようになり、見える者が盲目となるためです。」(ヨハネ9:39) この「さばき」は、この意味で使われている。「さばく」ためには、「基準」が必要であるが、イエス・キリストが来られて、神の基準である「聖」と「義」とを示された。これによって私たちの罪がはっきりとわかるようになった。その意味でキリストは「世をさばく」ために来られたのである。

\*基準に照らして判断する行為そのものが「さばき」の第一の意味だが、もう一つは、判断の結果「罪に定める」という意味である。判決で有罪だと宣言することである。「さばいてはいけません。さばかれたいためです。あなたがたがさばくとおりに、あなたがたもさばかれ、あなたがたが量るとおりに、あなたがたも量られるからです。」(マタイ7:1~2) この「さばく」は人のことを悪いと決めつけることである。私たちの見る目は罪ある目であり、いつも正しい判断をすることは限らない。本当のさばきは神しかできないことを知りたい。

\*「神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。御子を信じる者はさばかれぬ。信じない者は神のひとり子の御名を信じなかったため、すでにさばかれている。」(ヨハネ3:17~18)

この「さばく」は「罪に定める」という意味であり、「救う」と正反対のことばである。したがって「救われる」とことと「さばかれぬ」とことは同じである。御子イエスを信じれば、罪はあるけれども、十字架のゆえに無罪とされるのである。父なる神がイエス・キリストを遣わされた目的は、世のすべての人が救われて真理を知るようになることである。

\*まことの光であるイエスが来ているのに、その光の方に行かない人が多くいる。神様の本意ではないが「すでにさばかれている」という。完全なさばきは終わりの日の審判の時であるが、イエスを信じない者はその時点ですでに行き先が決まっている。「永遠の滅び」である。しかし、イエスを信じるようになれば、行き先は「永遠のいのち」である。信じない者ではなく、信じる者になり、イエスのふところでもいつまでも平安に生きる者でありたい。